

② 事業を実施した後に「配慮されていたかどうかチェックしてみましょう。」

Check!

- 1 ■ 市民への事業実施周知をより効果的な方法で行った。
■ 市広報紙 ■ 市ホームページ ■ 振興センターだより □ 回覧
■ その他の方法(ポスター、チラシ)
- 2 ■ 市民への事業実施周知期間は確保された。
□ 2か月 ■ 1か月半 □ 1か月 □ 2週間
□ その他の期間()
- 3 ■ 事業を実施する場所が、市民の交通の利便性に配慮されている場所であった。
■ バス停の近く □ JRの駅の近く ■ 市のバスの運行
□ その他配慮した点()
- 4 ■ 事業を実施する場所もしくは近い場所に、事業への参加予定人数に見合う自家用車の駐車場を確保できた。
- 5 ■ 事業を実施する場所が、妊産婦、子ども連れの市民、高齢者及び障がい者にとって集まりやすい安全な場所(付近の道路に大きな段差はないか。歩行しにくい危険な箇所はないか。)であった。
■ 道路の大きな段差はなかった ■ 歩道があった □ 急な坂道はなかった
□ 点字ブロックがあった □ その他配慮した点()
- 6 ■ 事業を実施するにあたり、子供の預かり(保育等)等参加者へのサポートの配慮を行った。
■ 保育を行った ■ その他配慮した点(手話通訳を実施した)
- 7 ■ 事業を実施した日時は、参加対象者が参加しやすい日時であった。
□ 平日 ■ 土曜日 □ 日曜日
□ 午前(時～時) ■ 午後(0時半～3時半) □ 夜間(時～時)
□ その他配慮した点()
- 8 ■ 事業を実施するにあたり、市民からの意見の聴取(アンケート、意見交換会等)を行った。
□ アンケート □ 意見交換会
■ その他実施したもの(男女共同参画推進員との協議)
- 9 ■ 事業を実施した後に、実施した事業に対する市民からの意見の聴取(アンケート、意見交換会等)を行った。
■ アンケート □ 意見交換会
□ その他実施したもの()
- 10 ■ 事業に参加した男女別の人数を把握した。
■ 把握した(男 71人 女 411人) □ 把握しなかった

総括

「事業が男女共同参画の視点にたって配慮されていたかどうか振り返ってみましょう。」

■ 配慮されていた □ 配慮されていなかった

配慮されていなかったのはなぜ ———▶ **次回での改善策はどうする**

□ にチェックされなかった項目について振り返ってみましょう。